

(付) 調査票および単純集計結果

ちば

第 70 回 千葉県政に関する世論調査 調査票

ご回答に当たってのお願い

宛名のご本人様がお答えください。(代筆による回答も可能です。)

回答方法は「郵送」又は「インターネット」のいずれかをお選びいただけます。

令和 7 年 12 月 12 日 (金) までにご回答をお願いします。

※郵送・インターネット共通

郵送でお答えいただく場合

- この調査票に直接、黒か青のボールペン又は鉛筆でご記入ください。
- 調査票はご記入後、三つ折りにして同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください。返信用封筒へのお名前やご住所のご記入、切手は不要です。

インターネットでお答えいただく場合

- ご回答には、右下に貼られた「利用者 ID」「パスワード」が必要になります。
- 「利用者 ID」等は、ランダムに調査票へ貼っており、個人は特定されません。
- インターネットでお答えいただいた方は、この調査票を返送する必要はありません。
- 手順の詳細は、別添の「インターネット回答操作案内」をご覧ください。
- スマートフォンで、右下の 2 次元コードを読み取ると回答ページに移動します。

ご回答に当たってご不明な点等がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

【調査の趣旨・内容について】

千葉県 総合企画部報道広報課 広聴室
〒260-8667
千葉市中央区市場町 1 番 1 号
電話 043-223-2469
(平日 9:00~17:00)



千葉県マスコットキャラクター
チーバくん

【調査票の記入方法・締切等について】

調査実施機関
株式会社マーケティングリサーチサービス
〒170-0005
東京都豊島区南大塚 2-45-8
ニッセイ大塚駅前ビル 5 階
電話 03-6690-0086
(平日 10:00~18:00)



1 県民意識調査について

県では、県民の皆さまの意識を把握し、事業計画や施策評価等における重要な参考資料として活用しています。

今後の取組の参考とするため、県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

【千葉県への愛着や誇りについて】

問1 あなたは千葉県に、愛着や誇りを感じていますか。 n=1,759 (○は1つ)

40.2	感じる	3.3	どちらかといえば感じない	
39.5	どちらかといえば感じる	2.7	感じない	
12.7	どちらともいえない	1.3	わからない	0.4 無回答

【観光について】

問2 千葉県内を旅行する場合、より快適な旅行をするためには、特に何が充実して
いてほしいですか。 n=1,759 (○は3つまで)

11.0	体験プログラム	57.4	観光地への交通アクセス	
51.6	食事	24.8	観光情報・案内の充実度	
32.5	お土産・特産品	7.3	Wi-Fi等の通信環境	
7.9	接客サービス	28.6	観光地の公衆トイレ	
3.4	観光ボランティアガイド	27.5	観光地の駐車場	
9.6	バリアフリーへの対応	3.9	その他(具体的に)	0.3 無回答

問3 県産品をお土産や贈答品とする場合、何を選びますか。 n=1,759 (○は3つまで)

5.0	花	9.7	酒類	
42.7	農産物・果物	10.0	しょうゆ・みそ	
50.5	落花生・落花生加工品	3.8	乳製品	
2.3	肉類	39.5	菓子・せんべい	
26.0	生鮮魚介類	3.5	工芸品	
28.8	海苔・水産加工品	12.7	チーバくんグッズ	
5.3	漬物	1.7	その他(具体的に)	
		1.8	県産品を選ばない	0.2 無回答

【上水道の整備について】

問4 現在お住まいの地域の、上水道の整備についてどうお感じですか。 n=1,759 (○は1つ)

21.6	大変満足している	16.4	どちらともいえない	3.0	大変不満である
48.7	まあ満足している	5.2	やや不満である	4.6	わからない
				0.5	無回答

【地球温暖化の防止について】

問5 あなたは普段、以下にあげる省エネルギーや環境に配慮した行動をしていますか。
n = 1, 759 (○はいくつでも)

- | | | |
|------|----------------------------------|---------|
| 69.5 | 節電 | |
| 26.6 | クールビズ、ウォームビズ | |
| 4.5 | 家庭の省エネルギー診断の実施 | |
| 7.8 | 再生可能エネルギー電気※の積極的な使用 | |
| 13.3 | 環境負荷の少ない製品の購入（エコマーク、グリーンマーク商品など） | |
| 50.9 | マイボトルの持参 | |
| 27.7 | 公共交通機関や自転車の利用 | |
| 25.5 | エコドライブの実践（ふんわりアクセル、アイドリングの削減など） | |
| 1.6 | カーシェアリングの利用 | |
| 50.0 | 宅配便の再配達防止（時間指定、置き配など） | |
| 1.5 | 地球温暖化対策に関わるイベントや講習への参加 | |
| 2.6 | その他（具体的に | ） |
| 5.5 | 特にしていない | 0.2 無回答 |

※ 「再生可能エネルギー電気」とは、太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーを電源とした電気のことです。

問6 あなたのお住まいには、以下にあげる再生可能エネルギー・省エネルギー設備等が設置・導入されていますか。（集合住宅においては、共用部に設置されているものを含む）
n = 1, 759 (○はいくつでも)

- | | | |
|------|--|---------|
| 11.9 | 太陽光発電設備 | |
| 2.0 | 太陽熱利用システム（太陽熱温水器等） | |
| 5.2 | 蓄電池 | |
| 1.3 | ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス） | |
| 25.8 | 二重窓又は断熱サッシ | |
| 0.9 | HEMS（家庭用エネルギー管理システム） | |
| 46.9 | 高効率照明（LED照明） | |
| 1.1 | 家庭用コージェネレーションシステム（エネファーム、エコウィルなど） | |
| 20.2 | 高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズなど） | |
| 19.7 | 省エネルギー性能が高い家電 | |
| 15.8 | 次世代自動車
（電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、ハイブリッド自動車など） | |
| 1.4 | その他（具体的に | ） |
| 26.4 | 設置・導入しているものはない | 1.3 無回答 |



【熱中症対策について】

問7 以下について、どのような時に発表されるか、また発表された際取るべき行動を知っていますか。
n = 1,759 (○はそれぞれ1つずつ)

	よく知っている	大体知っている	ある程度知っている (言葉をきいたことがある)	知らない	無回答
(ア) 熱中症警戒アラート（熱中症警戒情報）※	19.9	42.2	31.9	4.7	1.3
(イ) 熱中症特別警戒アラート（熱中症特別警戒情報）※	16.2	38.0	33.1	9.6	3.0

※ 「熱中症警戒アラート」は、県内いずれかの暑さ指数情報提供地点で、暑さ指数(WBGT)が33以上となる場合に発表。

熱中症の危険性が極めて高い状況となるため、普段以上の熱中症予防行動（エアコン等の使用や水分・塩分補給、周囲の方への声かけ等）が必要です。

※ 「熱中症特別警戒アラート」は、県内全ての暑さ指数情報提供地点で、暑さ指数(WBGT)が35以上となる場合に発表。

広域的に過去に例のない危険な暑さとなるため、上記熱中症予防行動を徹底することに加え、危険な暑さから自分と自分の周りの人の命を守る行動が必要です。

問8 暑さをしのげる施設である「クーリングシェルター※」と「涼み処※」を知っていますか。
n = 1,759 (○は1つ)

12.4 両方知っている	9.4 「涼み処」のみ知っている
9.6 「クーリングシェルター」のみ知っている	67.1 いずれも知らない
	1.5 無回答

※ 「クーリングシェルター」とは、危険な暑さから避難できる場所として市町村長が指定した施設であり、熱中症特別警戒アラートの発表期間中、一般に開放されます。

※ 「涼み処」とは、熱中症特別警戒アラートの発表状況に関わらず、クールシェア・休憩を目的に一般に開放されている施設で、クールスポット等と呼ばれている場合もあります。

→(問8で「1」～「3」のいずれかをお答えの方に)

問8—1 クーリングシェルター・涼み処について、どこで知りましたか。
n = 552 (○はいくつでも)

10.9 県のお知らせ	9.2 家族や知人からの紹介
32.2 市町村のお知らせ	15.8 その他（具体的
11.8 民間企業のお知らせ	3.3 どこからも情報を入手していない
41.3 施設に掲示されているポスターやステッカー等	0.9 無回答

問9 熱中症予防のために、この夏に行った行動はありますか。

n=1,759 (○はいくつでも)

35.6 こまめな休憩	10.1 暑くなる前から軽い運動を行い、 体を暑さに慣らす
86.2 こまめな水分・塩分補給	
57.6 外出時の日よけ（日傘や帽子等）	50.7 暑い時間帯を避けた外出や運動
85.3 エアコンや扇風機の活用	4.8 涼み処の利用
43.7 天気予報等による暑さの情報収集や 熱中症警戒アラート発表状況の確認	1.3 その他（具体的に
23.9 ご家族や高齢者等への声掛け	1.3 特に何もしなかった
	1.0 無回答

【障害者差別について】

問10 あなたは、現在の社会の中には、障害がある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。

n=1,759 (○は1つ)

31.9 あると思う	52.0 少しはあると思う	13.3 ないと思う	2.8 無回答
------------	---------------	------------	---------

→ (問10で「1」、「2」のいずれかをお答えの方に)

問10-1 あなたは、どのような場面で障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。

n=1,475 (○はいくつでも)

64.1 雇用や仕事、収入	6.0 病院など医療機関での診察
40.0 学校や職場での人間関係	42.7 交通機関の利用や建築物の構造
20.5 教育の機会	12.9 不動産の賃貸
51.3 まちなかでの人の視線	8.3 テレビやラジオ、新聞などの情報提供
15.7 店員の応対や態度	2.8 その他（具体的に
8.7 行政職員等の応対や態度	0.4 無回答

【困難な問題を抱える女性への支援について】

問11 あなたは、これまでに生活困窮、DV被害、家族関係破綻など困難な問題を抱えた際、誰に相談したことがありますか。女性以外の方も教えてください。

n=1,759 (○はいくつでも)

8.5 公的な相談窓口（SNS相談を含む）	1.5 交際相手
3.0 民間の相談窓口（SNS相談を含む）	0.9 SNSやインターネット上の知人
3.2 病院や福祉サービス事業者（利用時）	1.0 その他（具体的に
0.7 学校の先生	10.7 相談しなかった
15.9 家族・親族	56.1 困難な問題を抱えたことはない
13.2 友人・知人	4.8 無回答

令和6年4月1日に困難な問題を抱える女性への支援に関する法律※が施行され、県でも同法に基づき女性支援事業を実施しています。

※「困難な問題を抱える女性」とは、性的な被害、家庭の状況、地域社会との関係性その他の様々な事情により日常生活又は社会生活を円滑に営む上で困難な問題を抱える女性（そのおそれのある女性を含む。）をいいます。例えば、家族関係の破綻やDV被害等で家に帰れない女性、生活困窮により住む場所のない女性等を指します。

問12 相談機関に相談しやすくするためには、どのようなことが必要ですか。
最もあてはまるものを選んでください。女性以外の方もお答えください。
n=1,759 (○は1つだけ)

- 34.9 電話、SNS、対面など、相談できる手段が複数あること
- 17.2 土日・祝日にも相談できること
- 4.9 行政機関閉庁後の時間帯に相談できること
- 7.0 同性の相談員に相談できること
- 17.9 匿名で相談できること
- 6.3 同じ境遇の人と交流できること
- 2.6 その他（具体的に)
- 9.2 無回答

問13 困難な問題を抱える女性へどのような支援や対策があるとよいと思いますか。
最もあてはまるものを選んでください。女性以外の方もお答えください。
n=1,759 (○は1つだけ)

- 21.3 相談窓口が周知されること
- 31.0 利用できる支援制度の情報提供（就労支援、住居支援、法律相談、カウンセリングなど）
- 13.5 気軽に立ち寄り、一時的に休息できる居場所
- 20.1 DV等から安全に避難でき、自立が目指せる施設
- 3.1 若者を中心としたDV予防教育の推進
- 2.6 DV加害者への教育プログラム
- 2.2 その他（具体的)
- 6.3 無回答



2 県政の主要課題について

【県立中央博物館について】

県では、県立中央博物館のリニューアルについて検討しており、今後の参考と
するため、県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

問 14 あなたは、これまでに県立中央博物館を利用したことがありますか。

n=1,759 (○は1つ)

13.9 利用したことがある

85.7 利用したことがない

0.3 無回答

→(問 14 で「1」とお答えの方に)

問14-1 あなたは、この1年間にどのくらい来館しましたか。 n=245 (○は1つ)

20.8 1回

4.5 2回

3.7 3回以上

63.7 この1年間に利用していない

7.3 無回答

→(引き続き、問 14 で「1」とお答えの方に)

問14-2 あなたが、来館した目的は何でしたか。

n=245 (○はいくつでも)

45.3 開催中の展示に興味があったため

20.0 楽しい娯楽を求めて

5.7 講座やワークショップに参加するため

24.9 近くに来たついでに

8.6 資料の閲覧など調べものをするため

9.4 その他(具体的に) 6.1 無回答

→(問 14 で「2」とお答えの方に)

問14-3 あなたが、利用しない理由は何ですか。

n=1,508 (○はいくつでも)

14.8 展示内容に興味が無いため

7.8 魅力的なイベントが開催されないため

15.8 交通が不便なため

69.9 県立中央博物館を知らなかったため

5.3 その他(具体的に) 1.3 無回答

(すべての方に)

問15 あなたは、これからの県立中央博物館に何を期待しますか。

n=1,759 (○はいくつでも)

52.5 魅力的な展示内容

28.0 魅力的な講座や観察会等のイベントの実施

10.3 博物館活動の根幹となる調査・研究

9.4 博物館資料の収集・保管・管理

33.5 インターネットやメディア等を活用した情報発信

11.5 県民の学習支援

14.7 観光客の集客等による地域の活性化

3.4 その他(具体的に)

17.4 特に期待することはない

1.8 無回答

問 16 より多くの方々に県立中央博物館を利用して頂けるよう、休館日等の見直しを検討しています。あなたは、県立中央博物館の開館時間、休館日※について適当だと思いますか。 n = 1,759 (○は1つ)

※開館時間：午前9時から午後4時30分まで

休 館 日：月曜日（祝休日の場合は翌平日）

55.0	今のままでよい	
9.8	変えた方がよい（具体的に	）
33.5	わからない	1.7 無回答

（すべての方に）

このほかにも、「県立中央博物館について」や問 14～問 16 について、ご意見やご提案がありましたらご自由にお書きください。

【食育について】

県では、県民の皆さまが食に関する知識と食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践するとともに、生産から消費のプロセスについて意識し、食を支える人々への感謝の気持ちや理解が深まるよう食育を推進しています。

問 17 「食育」に関心がありますか。

n = 1,759 (○は1つ)

30.0	関心がある	21.6	どちらかといえば関心がない
40.2	どちらかといえば関心がある	6.6	関心がない
		1.6	無回答

→（問 17 で「1」、「2」のいずれかをお答えの方に）

問 17-1 「食育」に関心を持ったきっかけは何ですか。 n = 1,234 (○はいくつでも)

40.4	家庭で日頃から親に教わっていたこと	
16.5	学校で習ったこと	
16.7	結婚したこと	
49.8	親になったこと	
2.0	子どもが学校等で学習したことに影響されて（具体的に	）
20.2	食に関する事件	
6.4	農林漁業体験	
8.8	食に関するイベントへの参加	
4.6	講演会、セミナーへの参加	
12.7	その他（具体的に	）
		1.3 無回答

(すべての方に)

問18 あなた又はあなたの家族の中で、農林漁業に関する体験※に参加したことがある人はいますか。
n=1,759 (○は1つ)

43.7	いる	47.5	いない	8.2	わからない	0.6	無回答
------	----	------	-----	-----	-------	-----	-----

※ 「農林漁業に関する体験」とは、いちご狩りなどの収穫体験、農作業体験、学童農園での栽培や調理実習、学校での体験活動、市民農園での栽培体験、道の駅や交流施設などの体験活動、農林漁村に宿泊し交流する教育旅行などを指します。

問19 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理（郷土料理など）や作法（箸づかいなど）を知っていますか。
n=1,759 (○は1つ)

45.3	知っている	53.8	知らない	0.9	無回答
------	-------	------	------	-----	-----

→(問19で「1」とお答えの方に)

問19-1 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理（郷土料理など）や作法（箸づかいなど）を地域や次世代（子どもやお孫さん含む）に対して伝えていますか。
n=796 (○は1つ)

63.9	伝えている	35.9	伝えていない	0.1	無回答
------	-------	------	--------	-----	-----

(すべての方に)

問20 あなたは、農林水産物や食品を購入する時、千葉県産であることを意識して選びますか。
n=1,759 (○は1つ)

9.9	いつも意識して選んでいる	41.1	あまり意識して選ぶことはない
39.1	意識して選んでいることが時々ある	9.5	産地を意識することはない
		0.3	無回答

問21 あなたは、どのくらいの頻度で、有機農業※により生産される農産物を購入していますか。
n=1,759 (○は1つ)

18.9	週に1回程度またはそれ以上	10.2	全く購入しない
17.5	月に1回程度	46.2	わからない
6.8	年に1回程度	0.4	無回答

※ 「有機農業」とは、化学的に合成された肥料や農薬を使用しないこと、遺伝子組み換え技術を利用しないことを基本として、環境への負荷をできるだけ低減した生産方法で行われている農業のことです。

問22 あなたは、安全な食生活を送るための、「食品の安全性に関する基礎的な知識※」があると思いますか。
n=1,759 (○は1つ)

8.2	十分にあると思う	32.7	あまりないと思う		
53.7	ある程度あると思う	5.0	全くないと思う	0.3	無回答

※ 「食品の安全性に関する基礎的な知識」とは、消費期限やアレルギー物質などの表示の理解や、食中毒を防ぐ調理方法、健康食品の正しい知識や選び方等です。

(すべての方に)

このほかにも、「食育について」や問 17～問 22 について、ご意見やご提案がありましたらご自由にお書きください。

【不登校児童生徒支援について】

令和 5 年 4 月に施行された千葉県不登校児童生徒の教育機会の確保を支援する条例及び条例に基づく基本方針を踏まえ、県では、不登校児童生徒への支援に取り組んでいます。

今後の施策推進の参考とするため、県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

問 23 不登校児童生徒は年々増加しており、令和 5 年度の県内公立小中学校における不登校児童生徒数が 1 万 4,300 人であることを知っていますか。

n = 1,759 (○は 1 つ)

※ 不登校児童生徒数は小学校が 5,713 人で、前年度の 4,600 人より 1,113 人増加し、中学校が 8,587 人で、前年度の 7,482 人より 1,105 人増加しています。

3.5 おおよその数を知っている

67.6 数は知らなかったが、増えていることは知っている

27.7 数も増えていることも知らない

1.2 無回答

問 24 不登校児童生徒数が増加している理由は何だと思いますか。

n = 1,759 (○はいくつでも)

69.4 学校におけるいじめや対人関係等のトラブルが増加しているから

29.7 教員が多忙のため、児童生徒と接する時間が限られているから

27.9 学業や進路に関して、つまずきや不安を抱える児童生徒が増加しているから

59.3 学校での集団生活への適応が難しい児童生徒が増加しているから

28.8 児童生徒やその保護者が不安や悩みを相談できる環境が整っていないから

42.2 児童生徒の意思を尊重し、無理して学校に通う必要はないと考える保護者が増加しているから

21.0 学校以外でも学びを継続できる環境があるから

7.9 その他（具体的

）

4.0 わからない

0.9 無回答

問 25 あなたが、不登校児童生徒への支援として有効だと思う取組は何ですか。

n=1,759 (○はいくつでも)

40.3 教育支援センター	52.7 フリースクール
35.0 校内教育支援センター	12.2 メタバースを活用した居場所づくり
28.7 オンライン授業配信「エデュオプちば」	3.7 その他（具体的）
43.8 学びの多様化学校	12.3 わからない
	1.3 無回答

※「1 教育支援センター」とは、不登校児童生徒に対して、教科の学習、体験活動、カウンセリングなどを行う施設のことです。

※「2 校内教育支援センター」とは、学校へ登校できるものの、自分のクラスに入りづらい児童生徒の居場所や学びの場となる、学校内の空き教室等を活用した部屋のことです。

※「3 オンライン授業配信『エデュオプちば』」とは、県教育委員会で実施している不登校児童生徒を対象とした双方向型の授業配信です。（対象は小学校4年生から6年生及び中学生）

※「4 学びの多様化学校」とは、不登校児童生徒の個々の状況に配慮した特別な教育課程を編成できる学校のことです。

※「5 フリースクール」とは、体験活動などを通じた居場所の提供や学習支援など、様々な取組により、不登校児童生徒等を支援する民間団体のことです。

※「6 メタバースを活用した居場所づくり」とは、仮想空間であるメタバース上で、自身の分身であるアバターを使い、チャット機能などで相手と交流できる場を提供する取組のことです。

（すべての方に）

このほかにも、「不登校児童生徒支援について」や問23～問25について、ご意見やご提案がありましたらご自由にお書きください。



【サイバー空間の安全対策について】

インターネットが県民生活に浸透する中で、コミュニケーション手段がオンラインを中心としたものへ移行するとともに、様々な場面においてインターネットの利用が拡大しています。

一方、サイバー犯罪※が多発するなど、サイバー空間の脅威が深刻化しており、効果的な対策を検討するため、県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

※ 「サイバー犯罪」とは、コンピュータネットワーク上で行われる犯罪をいい、ここでは、以下「ネット犯罪」と称します。

問26 あなたは、ネット犯罪を身近なものとして感じたことがありますか。
n = 1,759 (○は1つ)

29.9 大いに感じたことがある	3.7 まったく感じたことはない
38.7 やや感じたことがある	5.5 わからない
19.2 あまり感じたことはない	3.0 無回答

問27 あなたは、自身又は家族を含めて、どのようなネット犯罪に危険性や不安を感じますか。
n = 1,759 (○はいくつでも)

78.9 電子メールやSMSを利用した偽サイトへの誘導	
66.7 偽サイトによる詐欺、悪質商法	
58.5 フィッシングメールによるクレジットカードや口座情報の窃取	
45.2 他人による不正アクセス	
23.6 インターネットバンキングの不正送金	
50.3 コンピュータ・ウイルスによる個人情報等の流出	
24.6 Free Wi-Fi（公衆無線 LAN）の悪用	
31.0 企業等に対するサイバー攻撃（テロ）	
33.7 SNS（X 等）による犯罪実行者の募集（いわゆる闇バイト）	
1.4 その他（具体的に)
4.4 わからない	2.2 無回答

問 28 あなたは、ネット犯罪に関する防犯情報等をどのように入手していますか。
n = 1,759 (○はいくつでも)

82.0 テレビ、ラジオ、新聞など	
10.2 県警や行政機関（県・市町村など）のホームページ	
16.0 県警や行政機関（県・市町村など）から発行される広報誌	
6.0 登録しているメールマガジン	
29.9 SNS（X 等）や動画投稿サイト（YouTube 等）	
8.7 警察等によるキャンペーン等のイベント	
3.5 その他（具体的に)
5.3 入手していない	1.8 無回答

問29 あなたは、飲食店、ホテル、空港などの街中に設置されているFree Wi-Fi
(公衆無線LAN)を利用しますか。 n=1,759 (○は1つ)

- 15.6 通信が暗号化されるなど、セキュリティが高いもののみ利用する
- 22.0 セキュリティは気にしないが、利用する際は個人情報等を入力しないようにしている
- 6.4 セキュリティは気にせず、何でも利用する
- 46.2 利用しない
- 7.4 わからない
- 2.5 無回答

問30 あなたは、インターネット空間の安全確保に向けてどのような警察活動を期待しますか。 n=1,759 (○はいくつでも)

- 76.4 ネット犯罪の取締りの強化
- 47.2 サイバー（インターネット）パトロールによる犯罪情報等の把握活動
- 51.2 高度な情報通信技術に対処するための捜査力や解析技術の向上
- 45.4 高度な犯罪手口に対処できる捜査機材の整備・充実
- 44.5 子ども（小・中学生）に対するネット安全教室の開催
- 17.4 ネット犯罪に関する防犯講話の実施
- 12.2 インターネット（リモート）による防犯情報等の動画配信
- 12.5 キャンペーン等のイベント開催による啓発活動
- 39.8 通信事業者などへのセキュリティ対策強化の働きかけ
- 1.3 その他（具体的に
- 4.0 特に期待することはない
- 3.0 無回答

(すべての方に)

このほかにも、「サイバー空間の安全対策について」や問26～問30について、ご意見やご提案がありましたらご自由にお書きください。

以上で質問は終わりですが、調査結果を統計的に分析するために必要なことがらをお聞かせください。

F 1 あなたの性別は。 n = 1,759 (○は1つ)

40.1	男性	56.6	女性	0.1	その他	2.0	回答しない	1.2	無回答
------	----	------	----	-----	-----	-----	-------	-----	-----

F 2 あなたは満何歳ですか。 n = 1,759 (○は1つ)

0.9	18～19 歳	16.9	40～49 歳	8.2	65～69 歳	1.3	無回答
8.1	20～29 歳	14.2	50～59 歳	11.8	70～74 歳		
10.3	30～39 歳	8.2	60～64 歳	20.0	75 歳以上		

F 3 あなたのご職業は何ですか。 n = 1,759 (○は1つ)

5.7	自営業者	18.7	主婦・主夫	19.7	無職
30.4	正規社員・職員	2.4	学生	1.9	その他 ()
19.5	パート・アルバイト・契約社員	1.7	無回答		

F 4 あなたは、結婚していच्छいますか。 n = 1,759 (○は1つ)

22.7	未婚	1.5	その他
62.3	既婚 (配偶者あり)	2.7	回答しない
9.4	既婚 (配偶者離死別)	1.5	無回答

F 5 あなたのお宅の住居形態は何ですか。 n = 1,759 (○は1つ)

68.5	一戸建住宅 (持ち家)
2.3	一戸建住宅 (借家)
11.7	集合住宅 (持ち家)
16.1	集合住宅 (賃貸のマンションやアパート、寮、シェアハウスなど)
1.5	無回答

F 6 あなたはお子さんが何人いच्छいますか。同居、別居は問いません。
※お孫さんは含まれません。 n = 1,759 (○は1つ)

14.8	1 人	14.7	3 人	0.6	5 人以上
35.6	2 人	1.5	4 人	30.9	子どもはいない
				1.9	無回答

F 7 あなたは、次のどの市町村にお住まいですか。

n = 1,759 (○は1つ)

14.8	千葉市	3.6	佐倉市	0.3	匝瑳市	0.5	勝浦市
5.2	市原市	1.9	四街道市	0.9	東金市	0.5	いすみ市
10.7	船橋市	0.4	八街市	0.2	山武市	0.0	夷隅郡大多喜町
6.0	市川市	1.4	印西市	0.9	大網白里市	0.0	夷隅郡御宿町
2.7	習志野市	0.9	白井市	0.0	山武郡九十九里町	1.1	館山市
4.0	八千代市	1.3	富里市	0.0	山武郡芝山町	0.7	鴨川市
2.7	浦安市	0.0	印旛郡酒々井町	0.5	山武郡横芝光町	0.5	南房総市
8.0	松戸市	0.5	印旛郡栄町	1.6	茂原市	0.0	安房郡鋸南町
2.7	野田市	0.7	香取市	0.0	長生郡一宮町	2.6	木更津市
6.4	柏市	0.1	香取郡神崎町	0.5	長生郡睦沢町	1.1	君津市
2.8	流山市	0.5	香取郡多古町	0.0	長生郡長生村	0.5	富津市
2.6	我孫子市	0.0	香取郡東庄町	0.0	長生郡白子町	0.6	袖ヶ浦市
1.8	鎌ヶ谷市	0.7	銚子市	0.6	長生郡長柄町	1.7	無回答
1.6	成田市	0.9	旭市	0.0	長生郡長南町		

以上で質問はすべて終わりです。

このほかにも、県へご意見がありましたらご自由にお書きください。

世論調査へのご意見やご提案がありましたらご自由にお書きください。



最後までご協力いただき、ありがとうございました。

この調査票を3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、

12月12日(金)までに、郵便ポストにご投函ください。

なお、返信用封筒へのお名前やご住所の記入、切手は不要です。

(インターネットでお答えいただいた方は、この調査票を返送する必要はありません。)